

おんだんかぼうしむせかいやくそく
温暖化防止に向けた世界の約束の事です。

「パリ協定」ってなに？



「パリ協定」で、世界は「温室効果ガス排出量実質0」に合意

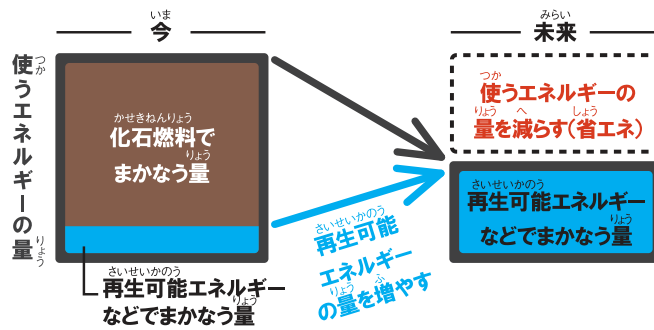
気温の上昇を止めるためには、人間が出す温室効果ガスの量を
 実質0にしなければならないことがわかってきました。そこで、世
 界中の国々が集まって2015年に「パリ協定」という約束をつくり
 ました。パリ協定には「今世紀後半に人間が出す温室効果ガス
 の量を実質0（※）にする」という内容が含まれています。

（※）正確には、温室効果ガスの「人為的排出」と「人為的吸収」を均衡させることにより「排出量を実質的に0にする」ことが合意されています。

国も京都府も、2050年までに温室効果ガス排出を80%削減することを目指しています



省エネ+再生エネで実現しよう！



- 化石燃料とは
 石炭、石油、天然ガスなどのこと。将来なくなる可能性が高い。使うと、二酸化炭素がたくさん出る。
- 再生可能エネルギーとは
 太陽光、水力、風力などから得られるエネルギーのこと。使っても、二酸化炭素が全く(または、ほとんど)出ない。

「使うエネルギーの量を減らす(省エネ)」「再生可能エネルギーの量を増やす」ことで、私たちが出す二酸化炭素の量を、実質0に近づけることができます。そしてこれは「ガマン」ではなく「選ぶ」ことで実現できます。決して電気を使わない生活に逆戻りするわけではありません。

実質0ってどうするの？

